

平成31年3月22日（金）終業式

平成30年度第3学期の終業式です。そして4月からは平成31年度ですが、5月には元号が代わる予定ですから、平成最後の終業式です。

3学期を振り返って、そして昨年の4月からの平成30年度を振り返って、この一年間はどうかだったでしょうか？

校長室で生徒と面談をしてきました。昨年の1学期は3年生と、2学期には2年生と、そして今年に入ってから1年生と面談をしてきました。最後は、1年3組商業科の生徒との面談でした。

「1年前の松高受験の頃を思い出して、答えてください。なぜ松高の商業科を選んだんですか？」と聞くと、何人もの生徒が、

「私は、高校卒業後に就職したいと思っています。就職する際に大切になる資格をたくさん取りたいと思い、松高の商業科を希望しました。」と答えてくれました。そこで、

「実際に入学してみて、どうでしたか？」と聞くと、

「検定試験は、自分が努力した分だけ結果に表れるので、やりがいがありました。でも中には、難しい試験もあって、大変な時もありましたが、先生や友だちに聞きながら頑張りました。それに友だちがたくさん来て、楽しかったし、一年間あっという間でした。」

私は思わず、「よかったね。頑張ったね。」と言って拍手しました。

さらに、「2年生になって頑張ろうと思っている目標は何ですか？」と聞くと、部活動や学校行事を挙げる人もいましたが、商業科の多くの生徒は、「やっぱり検定試験を頑張って、たくさん資格を取りたいです。」という答えが返ってきました。すごくまっすぐで、ほっこり・心が温かくなりました。

先週の高校入試の合格発表。一人ひとり、2年生は2年前を・1年生は1年前を、あの時の気持ちを思い出してください。寒い中、合格者の受験番号の中に、自分の受験番号を探した、あの日。ドキドキして、不安だったあの時。今は何でも当たり前と思っているかもしれないものも、決して当たり前じゃなかったんだと、自分を見つめ直してください。

そして、もう一度初心に戻り、新鮮な気持ちで、新しい学年・新しい学期に取り組んでほしいと思います。

3月1日の卒業式の、卒業生の答辞の中にも、自分が夢中になれるものを見つけてほしい、というフレーズがありました。覚えていますか？ 夢中になれる・一生懸命になれるものがあるということは、すごく幸せなことです。でもじっと待っていたって、そんなに都合よく、向こうからやってきてはくれません。自分から、何でも今日の前にあるものに対して、一生懸命やってみることから全ては始まると思います。そうして初めて、自分が夢中になれるもの・一生懸命になれるものが見つかると思うのです。

そして、一生懸命頑張ることは、すごくカッコいいことです。

松高生の一人ひとりが、みんなが、必死になって・汗を流し・眼をキラキラ輝かせながら、一生懸命頑張りたいと、心から願っています。そんな松高生を見るのが、私は何より好きです。

そして、今は自分のために頑張ると思いますが、いずれ将来、誰かのために・家族のために・地元故郷のために頑張ることの出来る、そんな人になってほしいと思っています。

平成30年度お疲れさまでした。そして平成31年度、呼び名・元号は変わりますが、2019年度、みんなで力を合わせ、一生懸命頑張っていきましょう。